

草津市教育委員会臨時会会議録

令和6年8月臨時会

(8月30日開催)

草津市教育委員会

出席委員	教育長	藤田雅也
	委員	小辻寿規
	委員	我孫子智美
	委員	森登世美
	委員	伊藤有理

事務局出席者	教育部長	岸本久
	教育部理事（学校教育担当）	菊池誠
	教育部副部長（総括）	安藤智至
	教育部副部長（スポーツ担当）	田中歩
	教育部副部長（図書館担当）兼 図書館長	二井治美
	教育部副部長（学校教育担当）兼 児童生徒支援課長	好士崎壯
	教育総務課長	山田晋作
	学校教育課長	西田和弘
	学校教育課専門員	奥村健二

令和6年8月草津市教育委員会臨時会会議 次第

令和6年8月30日 午前10時00分開会
市民総合交流センター（キラリエ草津 502、503）

日程第1 会期の決定について

日程第2

付議事項

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 議第54号 | 令和7年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについて |
| 議第55号 | 臨時代理の承認を求めることについて |

開会 午前10時00分

藤田教育長

それでは、ただいまから草津市教育委員会8月臨時会を開会いたします。

—————日程第1—————

藤田教育長

日程第1「会期の決定について」であります。本日1日限りといたしたいと思います。御異議ございませんか。

各委員

— 異議なし —

藤田教育長

異議がないようですので、8月臨時会は、本日1日限りいたします。

—————日程第2—————

藤田教育長

次に日程第2、付議事項に移ります。

はじめに、「議第54号令和7年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについて」を審議いたします。

事務局の説明を求めます。

学校教育課長

「議案第54号令和7年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについて」学校教育課西田が説明申し上げます。

公立の各小中学校で使用する教科用図書の採択については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の規定により、採択地区協議会が設置され、この協議会で行われた教科用図書選定の結果に基づき、各市町教育委員会で年度ごとに採択することになっております。

本市が属する、教科用図書第二採択地区協議会は、草津市、守山市、栗東市、野洲市、甲賀市、湖南市の6市で構成されており、それぞれの教育長、教育委員代表、保護者代表を委員とする協議会です。この協議会において、第二採択地区内の各市立小中学校で使用する教科用図書が選定されます。

本年度は、中学校用教科書全教科の採択の年であり、さらに、

小中学校「特別支援学級一般図書」の採択替えを行います。現在までに協議会を3回、代表協議会を1回、幹事会を3回開催してまいりました。併せて、5月28日から7月10日にかけて、各市より選出した委員による調査委員会を開催し、厳正かつ精密な調査を行いました。7月31日と8月1日の協議会では、委員長より調査報告を受け選定し、8月1日には第二採択地区としての議決を行いました。お手元の資料の1ページから今年度の調査報告書となります。

議案書の3ページから4ページを御覧ください。

こちらは昨年選定を行いました小学校の通常学級で使用するものの一覧とその理由です。続いて、5ページから8ページは、小学校の特別支援学級で使用するものの一覧となります。特別支援学級で使用するものについては、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学省著作本と検定本以外にも、絵本などの一般図書からも選定することができます。知的障害学級用については、保健において「ドキドキワクワク性教育②大切なからだ・こころ」が新たに選定されました。

続いて、中学校は、議案書の9ページから10ページが今年度選定されました通常学級で使用するものの一覧とその理由です。中学校の特別支援学級で使用するものの一覧は、11ページから13ページに記載しております。

社会科において「小学校おもしろ学習シリーズ完全版日本の歴史人物大事典」、理科において「小学館の図鑑NEO野菜と果物」の2冊が新たに選定されました。なお、弱視学級については、小中学校とも、通常学級で選択された教科用図書の拡大版と文部科学省著作本であります点字版の教科用図書を選定しています。

では、今年度中学校の使用教科用図書の調査結果を報告させていただくにあたり、資料の調査報告書の様式について説明いたします。参考して、資料の3ページに国語がございますので、そちらを御覧ください。

各教科、「様式1」で調査研究観点と観点の内容を示しております。教科により数は違いますが、①～③が知識および技能、④～⑥が思考・判断力、表現力、⑦～⑧が学びに向かう力、人間性などに係る内容の取り扱いの観点、⑨が資料や学習指導にかかわる構成等にかかわる観点、⑩が第二採択地区の独自観点と

いう形でそれぞれ調査を行っています。第二採択地区の独自観点とは、多様性の尊重、人権尊重、世界平和、いじめ、環境等の現在的な諸課題についての工夫や配慮がなされており、第二採択地区の子どもたちにとって学習しやすいかどうかという内容になっております。

続いて資料4ページを御覧ください。

資料4ページの「様式2」で発行者ごとの観点別評価をA B C Dで評価したものとなっております。また、8ページからは、「様式3」を示しております、こちらは教科書発行者ごとの特色についての研究結果を記載しております。

それでは、今年度中学校の使用教科用図書の調査結果とその内容を2教科ごとに説明させていただきます。まずは、国語科と書写の2教科です。

はじめに、国語科でございますが、調査を行いました教科用図書は、「東京書籍」「三省堂」「教育出版」「光村図書出版」の社から発行されたものです。

4社の中で、「光村図書出版」が選定されました。理由といたしましては、議案書の10ページ、国語の選定理由を御覧ください。

「各教科の巻末に「語彙ブック」が置かれ、描写、言動、思考に関する語句が多数紹介されている。また「語彙を豊かに」や「言の葉ポケット」「言葉を味わう」などでも、主体的に語彙を増やし、語感を磨く方法が系統的に学べるようになっている。写真やイラストには多様性や多文化共生を意識したさまざまな背景を持つ生徒が登場するよう配置されている。」という点で、「光村図書出版」が最も適切であるという結果になりました。

また、この教科書の特徴として、調査委員長から報告がありました内容を申し上げます。資料の7ページを御覧ください。観点①～⑩のすべてにおいてA評価となっております。とりわけ、観点⑤の3点目に示してありますとおり、「学びの扉」で学習の過程をわかりやすく示し、「学びのカギ」では学習を通して身につける資質、能力を明示しております。また観点⑩、SDGsに代表される現代的な諸課題を題材として幅広く取り上げており、3年間の学習の中で17の全目標について関連した教材を学習できるように配置されていると報告を受けており

ます。

以上のように、生徒を取り巻く現在の状況に配慮し、生徒が必要な力を最も身につけられる構成となっているということから、4社の中で、光村図書出版発行の教科用図書が最も適切であるという結果になりました。

次に、書写でございます。「東京書籍」「三省堂」「教育出版」「光村図書出版」の4社から発行された教科用図書から調査を行いました。

4社の中で「教育出版」が選定されました。理由といたしましては、議案書の10ページ、書写の選定理由を御覧ください。「話し合い活動を通した書写の学び方ができるよう工夫されている。筆の入れ方や穂先の向き、力の入れ方等がわかりやすく写真で示される。合計97点のQRコードコンテンツ（動画・資料・リンク・ワークシート）があり、特に筆使いに関する動画は充実しており、学習者が直接筆の運び方等が見えるようになっている。」という点で、「教育出版」が最も適切であるという結果になりました。

また、この教科書の特徴として、調査委員長から報告がありました内容を申し上げます。資料14ページの様式2を御覧ください。観点①～⑤のすべてにおいてA評価となりました。観点②毛筆での学習と硬筆を関連づけて書いてみる「試し書き」「まとめ書き」の設定があり、毛筆で学んだことを硬筆に生かせるよう構成されています。また、観点③では、学校行事等を多数例示しているため、生活の中で活用することができます。そして観点⑤現代的な課題が多く取り上げられているとともに、社会の多様性を踏まえイラストや図版、教材の文言等を含め、教科書内の表現に配慮がされているとの報告でした。

以上のように、生徒が書写の学習をするにあたって見やすく学びやすい点や、日常生活の中から例示し、生徒の興味関心に沿って主体的に学べる工夫がされていることから、4社の中で教育出版発行の教科用図書が最も適切であるという結果になりました。

国語と書写につきまして、以上となります。

藤田教育長

では、国語、書写について、何か御質問や御意見はございませんか。

伊藤委員	国語について教科書に生徒のイラストがたくさん載っていますが、この生徒がさまざまな多様性とか背景が重なるような生徒がページごとに載っていて現代の社会にあっていると感じました。
森委員	国語ですが、例えば3年生の国語の最初の26ページ「学びへの扉」で見通しをもつ、捉える、読み深める、考える、振り返る、どのように学習していくのか、その過程が記されていて生徒にとって非常に学習しやすいなと思いました。 これが單元ごとに学べるのがいいと思いました。
我孫子委員	書写ですが、教育出版は本の大きさがとても大きくて非常に見やすかったなというふうに思っています。授業では教科書に載っているものを手本とすると思うので、実際に文字がどれくらいの割合の大きさを書けばいいかなというのがイメージしやすく、とても分りやすいなと思いました。
森委員	書写の方で、生徒にとって身近な場面で文字を書く多数の書き方の例が記されてあります。1年生のノートの取り方から始まって、レポート、ポップ、新聞、ポスター、手紙、はがき、最後は願書、こういうふうに生活の中で文字を効果的に使えるように学んでいけるようになっているなと感じました。
藤田教育長	次の教科をお願いします。
学校教育課長	次に、社会科の地理的分野と地図について進めたいと思います。地理は「東京書籍」「教育出版」「帝国書院」「日本文教出版」の4社から発行された教科用図書から調査を行いました。 4社の中から「帝国書院」が選定されました。理由といたしましては、議案書の10ページ、地理の選定理由を御覧ください。 「用語解説や側注、コラム「地理+」が充実し、單元ごとに学習目標に対応した振り返りが設定され、学習内容の深い定着が図れる構成となっている。SDGsの視点から現代的な諸課題について取り上げたコラムが数多く掲載されている。「アク

ティブ地理」には、SDGsの視点から現代的な諸課題について考えさせる活動が設定されている。」ということから、「帝国書院」が最も適切であるという結果になりました。

この教科書の特徴として、調査委員長から報告がありました内容を申し上げます。資料22ページの様式2を御覧ください。帝国書院の地理の教科書は観点①～⑨まですべてにおいてA評価となりました。

観点③社会的事象の意味や意義、特色や相互関連を多面的・多角的に考察するために、複数の国や地域のことを取り扱った資料がとても充実しています。また観点⑤、章末、節末の「地理的な見方・考え方を働かせて説明しよう。」では、図や手順を示すことで対話的な学習活動が取り組みやすく設定されています。さらに観点⑧では、鮮やかな写真がレイアウトされ、学習意欲が湧く構成であり、インデックスも章ごとに色分けされているという報告でした。

以上のことから地理的分野は「帝国書院」が適切であるという調査結果となりました。

続きまして、地図でございます。

資料28ページからが地図となっております。

地図につきましては「東京書籍」「帝国書院」の2社から発行された教科用図書から調査を行いました。

2社の中で、「帝国書院」が選定されました。理由といたしましては、議案書の10ページ、地図の選定理由を御覧ください。

「地図をもとに確認したり深めたりする問いが数多くあり、基礎的な内容から発展的な内容までさまざまなレベルで問題が構成されていて、生徒が主体的に学習を進められるように工夫されている。地図ははっきりとした色使いで文字のバランスも良く、とても見やすくなっている。また、資料ページは地図の他に、写真やイラスト、主題図が豊富で、視点を変えて学習できるように工夫されている。」という点で「帝国書院」が最も適切であるという結果になりました。

この教科書の特徴として、調査委員長から報告がありました内容を申し上げます。

資料の30ページの様式2を御覧ください。

観点①～⑦までの全てにおいてA評価となっております。

観点④世界州別地図や日本地域別地図が充実し、世界の州ご

とに全体を俯瞰できる鳥瞰図が掲載されており、イラストも多く使われており、世界の州や日本の地域の特色をイメージしやすい地図となっています。観点⑦では、SDGsに関する特集のページと防災・環境・人間に関してのページが設けられ、防災や環境に関するものには明確な表記があり、分かりやすい構成となっております。環境に関しては、琵琶湖の例が取り上げられており、生徒の興味・関心を引きやすい構図となっているという報告でした。

以上のことから、「帝国書院」がふさわしいということになりました。

藤田教育長

では、社会科の地理的分野、地図について、御質問、御意見をお願いしたいと思います。

我孫子委員

地図の方ですが、表紙がすごく丈夫で3年間使用することを考えると、しっかり3年間使えるというところが非常に良いなと思いました。また、中身も非常に見やすく、ページ数も充実していると思います。中に載っている情報も新しいですし、その土地に関する歴史の情報なども載っていて、とても面白いなと感じました。

小辻委員

地理の方ですが、教科書14ページ、15ページの日本の姿のところでも、いろいろな地図の見方が書いてあり、日本が世界の中でどうなっているか、中国の海洋進出がどうかいろいろな話題がニュースに出ていると思いますけども、そういうところも理解しやすいかなと感じております。また、アクティブ・ラーニングをするための情報が過不足なくあったり、琵琶湖の水源の話であるとか、環境保全の話とか、そういったところも含めて、滋賀から日本そして世界を見ることにおいて他の会社の教材図書と比べても一番適切じゃないのかなと思っております。

藤田教育長

では、次の2教科の方へ進みたいと思います。

学校教育課長

次に、社会科の歴史的分野と公民的分野でございます。歴史的分野につきましては資料の32ページからの記載となって

おります。

歴史的分野では「東京書籍」「教育出版」「帝国書院」「山川出版」「日本文教出版」「自由社」「育鵬社」「学び舎」「令和書籍」の9社から発行された教科用図書から調査を行いました。

9社の中から、「日本文教出版」が選定されました。理由といたしましては、議案書の10ページ、歴史の選定理由を御覧ください。

「政治・産業・社会・文化についての内容を時代ごとにバランスよく配置、歴史の流れと各時代の特色が理解しやすくなっている。「歴史的な見方・考え方」では、学習の仕方、特に思考・判断・表現の面で非常によくまとめられている。写真や図・グラフなどのバランスが良い。大きさも均一的でなく、軽重が取れている。側注の文字も読みやすく、写真も鮮明で見やすい。」という点で、「日本文教出版」が最も適切であるという結果になりました。

この教科書の特徴として、資料の36ページ、様式2を御覧ください。観点①～⑥までの全てにおいてA評価となっております。

観点③では、単元を貫く問が各ページに記載されている。また各章のまとめに単元を貫く問を考えさせる課題が制定され、ヒントとなる語句も記されているため、苦手な生徒も主体的に学習に取り組みやすくなっている。それから観点⑤(2)の各編の節の最初にあるデジタルコンテンツ、イントロダクションムービーは、学習への導入にとっても効果的であることや、各ページにQRコードが設定されており、本文の内容に関連したデジタル教材が豊富に準備されています。授業において内容の全部を見せるだけでなく一部を見せる使い方をすることもでき、まとめの確認テストの内容も使いやすいものになっており、各コンテンツの使いやすさが際立っていたという報告でした。

以上のことから、歴史的分野については、「日本文教出版」が適当であるという結果となりました。

続きまして、公民的分野でございます。公民的分野は、資料の48ページ以降に記載しております。

公民的分野は「東京書籍」「教育出版」「帝国書院」「日本文教出版」「自由社」「育鵬社」の6社から発行された教科用図書から調査を行いました。

6社の中で、「帝国書院」が選定されました。理由といたしましては、議案書の10ページ、公民の選定理由を御覧ください。

「確認しよう」では、本文や図版から学習上大切な事項を確認させる問いを設け、知識の着実な定着を促す工夫がなされている。「アクティブ公民」や「未来に向けて」は、課題解決に向けて、多面的・多角的に考えられるテーマが多く取り上げられている。節の初めにQRコードが提示され、直接資料にアクセスすることができる。また、生徒がQRコードでワークシートに直接書き込むことができる。」という点で、「帝国書院」が最も適切であるという結果となりました。

協議会では帝国書院と日本文教出版の2社について、議論が行われました。

資料51ページを御覧ください。

帝国書院は観点①～⑦までの全てにおいてA評価となっております。帝国書院は、観点③各章の学習に入る際に示されている図によって、単元で学ぶ内容が視覚的に捉えられ、非常に効果的であること。また、観点④生徒がアクティブラーニングとして考えさせる社会的事象の難易度が適切であり、取り組みやすい今日的なものとなっており、主体的に調べ、分かろうとする態度が養えるよう工夫されている。また、観点⑦「未来に向けて」社会的事象は使う量が適切で、授業を展開させていく中で無理なく行える。ということから、「帝国書院」が最も適切であるという結果になりました。

歴史的分野と公民的分野については以上となります。

藤田教育長

社会科の、歴史的分野、公民的分野について、御意見、御質問ございましたらお願いします。

伊藤委員

歴史の方ですけれども、各過程に学習課題、見方、考え方、それぞれに勉強の流れが分かるようになっていまして、単に歴史を学ぶだけではなくて、何を考えさせられるのか分かりやすくすべての項目に示されていて、生徒は分かりやすく学べるなと思いました。

森委員

歴史的分野の方ですが、60ページを見てみると、その大きな編の終わりに、「出かけよう地域調べ、史跡見学に行こう平城

旧跡を歩く」生徒が主体的に学習に取り組める内容になっていて、目次の方を見ると、大きな章の中に「出掛けよう地域調べ」とか、そういうふうに生徒が主体的に学習を調べていくような内容を取入れているのが良いと思いました。

我孫子委員

歴史ですが、写真が色鮮やかで見やすく、イラストもわかりやすく表現されているので、歴史の情景などがイメージしやすいと思いました。先ほど説明があったQRコードでイントロダクションムービーがあって、これからこういうことを学んだということもイメージできるっていうところがとても良いなと思いました。

小辻委員

歴史の話ですが、例えば110ページから111ページで、繋がれていく世界というところだと、一昔前だと、コロンブス等が冒険に行ったという形が見られるような歴史構成が多かったと思います。現在ではそうではなくて侵略というのがテーマとして上がってきています。侵略や奴隷等、しっかりとその中に書いてあるとどのような形で世界が繋がっていったのか、そしてその中で何が起きたのか、分かりやすくまとめていただいていると思いました。また、詳しく取り上げるだけでなく、例えば大河ドラマとかで見てよく知っている名前がそこに出てきて、歴史の中でこの人物はどのようなひとだったのか学べるような、教科書から別のところに繋がるような構成を作っていただいているので、日本文教出版が一番いいのかなというふうに思っております。

我孫子委員

公民ですが、帝国書院にはアクティブ公民というページが随所、随所にあります。各テーマに沿って自分たちで考えて話し合えるものになっています。このテーマっていうのが難しいものではなく、身近に感じることができる社会的な課題が多いなというふうに感じました。考えやすいですし、様々な意見が出やすいのではないかなと思いました。

小辻委員

公民ですが、例えば150ページで金融の仕組みと動きという話がありますが、その中にクラウドファンディングの話も出てきていて、首里城の再建の支援であるとか、この間起

きたような話が載っているので、生徒からすると非常に今の社会の話と結びついていると思います。公民は、遠い話ではなくて身近な話だというのがわかりやすくまとめているのかなと思います。SDGs もしっかりと取り上げていただいております、公民を遠い存在と感じず、社会の市民として主体として活躍していただく皆さんにとって、最適な教科書ではないのかなと思いました。

森委員

70 ページを見ているのですが、学習を振り返ろうということで、単元の終わりに見開きのページがあって、学んだことを生徒が整理しやすいようになっていて、最後の方にクラゲチャートを用いてアイディアを出そうという思考ツールの活用方法もわかりやすく記されていていいなと感じました。

伊藤委員

公民の目次の所の3と4ですが、ここでも分かるように、未来に向けてというコラムがあります。今の社会から未来に向けてどのような提案が出来るのかという内容が各単元に書かれていまして、今の社会を見るだけでなく、未来の社会の姿をどのようにしていけばいいのか想像が付きやすくなっているのも、良いなと思いました。

藤田教育長

では、次の2教科をお願いします。

学校教育課長

次に、数学と理科でございます。

数学は資料59ページから掲載しております。

数学は「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「新興出版社啓林館」「数研出版」「日本文教出版」の7社から発行された教科用図書から調査を行いました。

7社の中から「学校図書」が選定されました。議案書の10ページ、数学の選定理由を御覧ください。

「「Question」」には数学的活動で学びを深められる問と、働かせたい見方・考え方のヒントが示されていて、見通しを持ち筋道を立てて論理的に考察できる。日常生活への利用では、問題発見から段階的に解決できる構成である。「説明する力をつけよう」の問題では、生徒同士の話し合いをとおして、他者の考えに触れ、協働的な学習を行うことができ、表現力の向

上に繋がる。また、問題の配置や量も適切である。」という点で「学校図書」が最も適切であるという結果になりました。

この教科書の特長として、資料の62ページ、様式2を御覧ください。観点⑦を除く観点①から⑥でA評価となり、最も評価が高くなりました。

観点①では、ノートにまとめやすい説明や表示、つけるべき力がわかる「確かめよう」の問題など、知識技能の定着にも配慮があり、問題の質、量も含め全体的なバランスが良く、使いやすい。また、観点④で同じ問題を異なる条件や考え方で解いていく課題や図や表、言葉による多角的で比較も含めたイメージしやすい説明など、課題への多様なアプローチの仕方や深め方にも工夫が見られます。観点⑥デジタルコンテンツが豊富で、生徒の個性や段階に応じた活用が可能になっている。という報告がありました。

以上のことから、数学については「学校図書」が適切であるという結果となりました。

続きまして、理科でございます。

理科は資料69ページから掲載しております。

理科では、「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「新興出版社啓林館」の5社から発行された教科用図書から調査を行いました。

5社の中で「新興出版社啓林館」が選定されました。議案書の10ページ、理科の選定理由を御覧ください。

「各章の中に、単元で取り扱う事象の本質に迫る問題提起になる投げかけがわかりやすく提示されている。実験目的、方法、結果、考察までの流れが見開きのフローチャートで記載されていて見やすい「探Q実験」において、実験結果のまとめ方や分析するために参考となる情報が見やすくまとめられている。探Q実習」に、結果と考察から発表スライドを作成し、意見交流を促す記載がある。」という点で、「新興出版社啓林館」が最も適切であるという結果となりました。

この教科書の特徴として、資料の75ページ様式2を御覧ください。観点①～⑥の全てにおいてA評価となっております。

観点④掲載されている写真や画像は、資料集としての活用も可能なレベルで、情報量も多いことから、様々な視点から考察することができ、生徒の気づきや理解を広げる上で有効となる

よう構成されているということです。観点⑤「つながる学び」において、既習事項や理科の学習に欠かせない算数・数学に関する解説などもあり、全ての生徒の学びを支援する配慮がなされております。観点⑥環境問題に関するコラムも充実しており、各学年の最終ページに地域環境資料とSDGsとの関連が掲載されている。という報告がありました。

数学と理科については以上となります。

藤田教育長

では、数学と理科について、御意見、御質問はございませんか。

小辻委員

数学についてですが、例えば3年生で242ページの標本調査ですが、数学は生徒には馴染み辛いものですが、その中でも何とか社会と数学が繋がっていることを、いろいろなところに書いている教科書なのかなと思いました。標本調査のところだと、調査がどのような形で出来るのかというところで、単純に数学をやるだけじゃなくて、社会に繋がっていくような、大学などへの学びに繋がっていくようなところを分かりやすく書いており、良いと思います。学びの最初に適切な教科書で、数学という学問だけに捕らわれずに、他のことに応用可能なことがよく分かる教科書で良いなと思います。

森委員

数学の1年生の教科書ですが、色づかいが非常に優しくて、すっきり見やすいです。文字の大きさ、フォント、情報量、そういうのが適切だからスッキリして見やすいと思いました。最初のポジションでどういうことを学んでいくのかなっていうのが分かって、黄色でヒントが書かれているので数学が苦手な子も分かりがあって、授業に興味を持って進めていけると感じました。

小辻委員

理科ですが、2年生の例えば181ページですと、アクションのところに深めるラボ、防災・減災ラボが書いてありまして、金属の錆の話や窒素で火を消す消防技術などしっかり書かれています。理科が特に得意でないという生徒にとっても自分の生活に密接に繋がっており、分からなかったと思っていても、もしかしたら目の前に見ているのがそういう現象なのかと確

認でき、いろいろな写真を使っている教科書だと思いました。
また、同じ2年生でも251ページのあたりですと、化学史の話が載っていますし、歴史が好きな生徒も理解、興味を持ってもらえるような作りにされていて、複合的な学びをしていく思いを非常に強く感じる教科書だなと感じました。

森委員

理科の1年生の教科書ですが、82ページのマグマの性質と火山の形関係で探求実験Qがあって、課題、仮説、計画、結果、考察という一連の学びの過程が記されていて、実験のときに廃液処理とか怪我注意とか注意をしなければならないことも適切に書かれていて、実験手順もわかりやすく良いと思いました。

藤田教育長

では、次の2教科をお願いします。

学校教育課長

続きまして、音楽科です。音楽科は音楽一般と器楽合奏の二つがございます。

音楽科につきましては、資料の81ページから音楽一般が記載されております。

音楽一般は「教育出版」「教育芸術社」の2社から発行された教科用図書から調査を行いました。2社の中で「教育芸術社」が選定されました。議案書の10ページの選定理由を御覧ください。

「音楽を形づくっている要素、との関連が教材ごとに明記されており、音楽に関する歴史やその背景など、知識の習得と学習内容の理解につながる記述が適切に配置されている。歌唱については系統的な配置がされている。伝統芸能や地域の下の方の芸能なども加わり、現代の生活と古典芸能が共存していることが理解できる。デジタルコンテンツは、音楽・動画・ワークシートと豊富であり、創作ツールも充実している。」という点で、「教育芸術社」が最も適切であるという結果になりました。

資料84ページを御覧ください。音楽一般は観点①～⑧までの8観点ございますが、その内の6つがAとなり最も評価が高いです。

観点①「音楽を形づくっている要素、音楽に関する歴史や背景等の知識の習得」では、教育芸術社は我が国の伝統的な歌唱

について、観賞教材だけでなく歌唱教材として系統的な配置を工夫している。観点②「生徒が主体的に活用できる基礎的技能の習得」では、2社とも写真や挿絵で視覚に訴えながら分かりやすい解説がされておりますが、教育出版は、歌唱の技能や指揮の方法についての記述は、1年生の教科書は詳細な説明があるのですが、記載されていない学年がある。その一方で、教育芸術社は、発達段階に応じて3年間の系統性が分かる解説がしっかりとされている。観点③「主に音楽を形づくっている要素」では、教育芸術社は「学びのコンパス」というコーナーを設けており、配置数が多く生徒の思考の深まりが期待できる内容です。観点⑥「知覚・感受したことについての意見交換」では、意見交換の際にキーワードとなる「音楽を形づくっている要素」の記述は、2社とも工夫しているものの、教育芸術社は意見交換の学習活動が多く、中間発表を設けて個々の思考の深まりを図る教材もあったという点で優れているという報告でした。

続きまして器楽合奏に移りたいと思います。

資料87ページからの記載となっております。

器楽合奏は「教育出版」「教育芸術社」の2社から発行された教科用図書から調査を行っております。

2社の中で「教育芸術社」が選定されました。議案書10ページの選定理由を御覧ください。

「楽器の名称、基礎的奏法の解説が適切に配置され、知識の習得に効果的な内容となっている。『楽器を知ろう』のコーナーでは、楽器の歴史が簡潔に記載され、楽器への興味・関心を高めるものとなっている。また、どの楽器においても記述や写真等で奏法がわかりやすく示され、技能の習得に有効である。デジタルコンテンツが豊富に配置されており、生徒の自主学習・発展的な学習に役立つ工夫がされている。」という点で「教育芸術社」が最も適切であるという結果になりました。

この教科書の特徴として、資料89ページ様式2の方を御覧ください。教育芸術社は観点⑦を除いて、他の7項目でA評価となり評価が最も高くなっております。

観点③「音楽を形づくっている要素」と知覚・感受との関わりについて考える活動の配置について、教育出版は教材ごとに演奏上の目当ての記載はあるものの、「音楽を形づくっている

要素」を重点に置いたものとしては少し弱く、一方で教育芸術社は音楽一般の教科書同様、「学びのコンパス」というコーナーを配置し知覚・感受との関わりについて考える活動が行える形となっている。観点④「生徒の楽譜の理解を深める記述」について、両社とも楽譜に注釈や説明があり、楽譜や楽曲の理解を深める工夫がある。両社とも箏、お琴の楽譜は五線譜と縦譜を掲載していましたが、教育出版は同じ楽器の楽譜や双方の記述が複数のページに渡っており、活用しにくい箇所がある。観点⑥「知覚・感受したことについての意見交換」については、教材数や内容の充実について教育芸術社が充実しているという報告でした。

音楽一般と器楽合奏の報告は以上でございます。

藤田教育長

では、音楽一般と器楽合奏について、御質問、御意見はございませんか。

伊藤委員

音楽ですけど教科書に写真が載っていますが、単に曲を習うだけではなく、曲というものが今の社会の中にどの様に反映しているのかという観点からこの教材が作られていると感じました。

曲が諸国へのどんな想いをのせて書かれているのか考えさせられる内容になっており、人を深くみていく内容になっていていいなと思いました。

小辻委員

音楽ですが、楽譜等も非常に見やすく印刷されていて、演奏もしやすいなと思います。また教材的に各QRコードでメッセージを見ることができますので、生徒が音楽の授業時間外でも興味を持ったところを調べることも行いやすいと思います。今の時代、YouTubeなどで音楽などに触れることはできますが、単純にそれだけではなく、対話ができたりという機能もありました。また、音楽2、3下の62ページ、63ページで、ポピュラー音楽も載っていますので、J-POPや日本の音楽も出てきて、世代を超えた話をするときには助かると思います。学びの教科書としても非常に適切だと思います。

伊藤委員

器楽についても、同じ出版社になりますが、もちろんたくさ

んの楽器が紹介されています。70ページを見ていただきますと「伝統のある活躍する和楽器」というタイトルで、和楽器が西洋の例えば、尺八とマリンバ、お琴とオーケストラといったように、和楽器も世界で活躍しているような内容が書かれています。68ページですが、私たちの時の音楽の教科書ではありえなかったのですが、「バンドの世界を覗いてみよう」って書かれています。今の現代音楽がどのようになっているのかとか、「バンドの楽譜を見てみよう」というようなタイトルで音楽の枠を凄く広くとらえていると思いました。生徒が自分の一生の中でどのように音に触れていくかと訴えかけているような形になっているので、いいと思いました。

藤田教育長

それでは、次の2教科をおねがいします。

学校教育課長

続きまして、美術と保健体育でございます。

美術は資料91ページからの記載となっております。

美術は「開隆堂出版」「光村図書出版」「日本文教出版」の3社から発行された教科用図書から調査を行いました。

3社の中で、「光村図書出版」が選定されました。議案書10ページの選定理由を御覧ください。

「写真や図版の内容が充実しており、鑑賞から表現へのつながりの役目をしている。別冊資料により3年間繰り返し見ることができ、それぞれに必要な時、補助として使える。写真や映像表現など取り扱い内容が充実している。鑑賞資料が豊富で比較鑑賞がしやすい構成や、思考ツールの提示など、工夫箇所が見られる。デジタルコンテンツに他で見ることができない貴重な資料が収録されている。」という点で、「光村図書出版」は最も適切であるという結果になりました。

この教科書の特徴として、資料の93ページの様式2を御覧ください。観点①～⑦のすべてにおいてA評価となっております。

光村図書出版は、資料と解説のバランスも良く、すっきりとしたレイアウトで分かりやすくまとめられているので、生徒自らが理解し技法を試していくことができるようになっております。観点②画像や用語の解説の掲載が多く、知識を程よく補える。また観点③美術に関連する要望を掲載することで、鑑賞

や制作の視点が分かりやすく示されており豊かな言語活動に結びつけている。観点④教科書にはPOINTのページや「みんなの工夫」という制作工程の掲載があり、思考から表現へ、学習が自然に流れていくという報告でした。

続きまして、保健体育に移ります。

保健体育は資料97ページからの掲載となっております。

保健体育は「東京書籍」「大日本図書」「大修館書店」「Gakken」の4社から発行された教科用図書から調査を行いました。

4社の中で、「大修館書店」が選定されました。議案書の10ページの選定理由を御覧ください。

「実写が多く、イメージを持たせながら学ぶことができる工夫がなされていた。子どもたちが身近にスポーツを捉えやすく感じるよう、技能の例を多用しており、深い学びに繋がる内容となっている。運動、食事、休養、睡眠をバランスよくとることが健康の保持増進に繋がるなど、生活の一つ一つの行動が体と心の健康と結びついていることが分かる内容である。」という点で、「大修館書店」が最も適切であるという結果になりました。

ストレスへの対処について、具体的な場面が多く設定されており、SNSとの関わりなど社会問題との連携もしております。

この教科書の特徴として、資料100ページの様式2を御覧ください。保健体育は観点①～⑩ございますがAが8項目ございまして最も評価が高くなっております。

観点④カラフルなページが多く、個人でイメージを持ってグループ活動に取り組みやすい工夫がなされている。「章のまとめ」には、思考・判断・表現に関するページが設けられており、振り返りを行いやすい工夫がなされていました。観点⑤説明文章の補足説明である資料が、生徒自身の生活に置き換えて考えられるようになっているとともに、資料を効果的に活用するための色合いや配置などのバランスが良く、全体的に見やすいということでした。観点⑩LGBTQについて、身近な制服について書かれているなど、詳しく表記されていて分かりやすい。そして性的マイノリティの人たちが抱える不安や悩みなど「性の多様性」についての話もあり、その内容について充実してい

るという報告がございました。

美術と保健体育の報告は以上でございます。

藤田教育長

では美術と保健体育での御意見、御質問をお願いいたします。

森委員

美術1の24ページですが、目標、例えば鑑賞の所で「中学生が描いた作品を鑑賞して、心惹かれる風景を表すためにどのような工夫をしているか考えてみよう。」とあって、その下にオレンジで囲んであるポイントがあって、「作者はこの風景のどんなところに惹かれたのだろう。色使いや構造をもとに考えてみよう。」というふうに、生徒にこの単元で学ぶべきポイントがわかりやすい言葉で書かれていると思いました。学習に取り組むための様々な手がかりがこの中に示されている感じで良いなと思いました。

我孫子委員

保健体育についてです。教科書の中に服装指導というページがありまして、詳しく書いてあるのですが、先程も説明がありました性的マイノリティについても2ページに渡って特集資料の方があり、人間の性について体の性、心の性、表現の性が詳しく記載されています。この時期だからこそ考えてもらいたい内容がしっかり載っているところがすごくいいなと思いました。

森委員

保健体育ですが、24ページを御覧ください。先程の選定理由の中にもありましたが、説明文章の補助資料が非常に分かりやすいです。このページは、疲労について書いてあるのですが、下の段に囲んだ資料1に、疲労の現れ方っていうのが書かれてあってイラストを使って疲労の現れ方を身体的と精神的に書かれており、自分のことに置き換えて生徒が考えられるようになっています。これが例えばその前でしたら18ページの健康のところで、良い・悪い環境など、わかりやすいイラストを使って、生徒が自分に置き換えて考えられるように説明文の補助資料があり非常に良いなと思いました。

藤田教育長

では、次の2教科をお願いします。

次に、技術・家庭でございます。

技術分野につきましては資料103ページからの記載となっております。

技術分野は「東京書籍」「教育図書」「開隆堂出版」の3社から発行された教科用図書から調査を行っております。

3社の中で「東京書籍」が選定されました。議案書の10ページの選定理由を御覧ください。

「学習の導入となる「レッツスタート」という活動が設けられており、学習内容への関心を高め、学習課題へとつなぎ、主体的に学習に取り組むことができる。また、「考えてみよう、話し合ってみよう、調べてみよう、やってみよう」と呼びかける言葉で、主体的・対話的に活動に取り組めるように工夫されている。デジタル教材は、説明と字幕の両方あることからわかりやすい。」という点で、「東京書籍」が最も適切であるという結果になりました。

この教科書の特徴として、資料の105ページ様式2を御覧ください。観点①～⑧の全てにおいてA評価となりました。

観点①技術についての科学的な原理や法則などを記述する際に表や図が適切に挿入されており、知識理解の手助けとなっている。観点⑦デジタルコンテンツは、オリジナル素材に加え、NHKの動画素材を利用し、教師や生徒が必要なときに必要な教材を視聴・提示することができます。メニューも良く整理されている。また、画面のコントラストを変えることで、部屋の明るさや視覚に特性がある生徒への配慮もある。という報告でした。

加えて、調査委員長からは、「東京書籍」は、全ページで基本要素の配置を統一しており、生徒に分かりやすく、教師にとっても教えやすい紙面デザインとなっている。さらに、必要に応じて関連教科とその項目まで示され、系統立てた学びに大変有効であるという報告もございました。

続きまして、家庭分野でございます。

資料109ページから家庭分野について記載しております。

家庭分野は「東京書籍」「教育図書」「開隆堂出版」の3社から発行された教科用図書から調査を行いました。

3社の中で、「開隆堂出版」が選定されました。議案書の10

ページの選定理由を御覧ください。

「具体的な生活場面から自分自身の課題を発見し、生徒が主体的に課題解決を進められるような実践やイメージが提示されている。ペアワークを取り組みやすい発問もある。多様性を意識した資料も豊富に掲載されている。人権学習や道徳との関連をもたせた内容が設定されている。ユニバーサルデザインの視点を意識し、文字量や色合いも工夫されている。」という点で、「開隆堂出版」が最も適切であるという結果になりました。

この教科書の特徴として、資料113ページの様式2を御覧ください。観点①～⑧の全てにおいてA評価となっております。

観点②視覚的に分かりやすく書かれており、丁寧な説明と拡大写真や資料等がはっきり書かれている。文字量も適量で理解しやすい。観点③「考えてみよう」「話し合ってみよう」では、生活の課題と実践に向けて、生活場面から自分自身の課題を発見しやすい問いが設定され、生徒が主体的に課題解決を進められるような実践やイメージが提示されている。観点⑧多様性を尊重したわかりやすい資料が掲載されており、他者理解に繋がる内容が充実している。1年生の学習内容としては難しいところもあるのではないかという意見もありましたが、小学校からの積み上げや道徳、人権学習との関連で教えることができる。という報告でした。

技術分野、家庭分野は以上でございます。

藤田教育長

では、技術分野と家庭分野について、御質問、御意見はございませんか。

森委員

技術分野の教科書58ページ「レッツスタート」最初の目標の下に課題があって、学校の机や椅子などを使っていて、こうだったらいいのにとあります。「レッツスタート」の課題がなになにしましょう、確かめましょう、なになにについて考えましょうというふうな柔らかい感じで課題が始まって、その後、学習課題、問題発見、解決の一番最後に振り返ろうということで、これからの生活に活かすことが分かるようになっています。見開きに書かれているのが、生徒にとって主体的に学習に

取り組めるような見通しがつきやすいのではないのかなと思いました。

次に、家庭分野ですけれども、単元の初めに卵マークがあつて、そこに書かれた課題がどれも生徒にとって身近なことから考えられるようになっていきます。学習にとつきやすいのかなというふうに思いました。ただ先ほどもありましたように、例えば、様々な家族、家庭のところでは非常に内容が充実している一方、1年生によっては難しく授業の時に配慮が必要であるかなと思いました。

伊藤委員

技術分野ですが、99ページ、134ページ、135ページ各ページにあるのですが、技術の初見というふうに書かれており、いろいろな一般の方が紹介されています。ここで学んだ技術が社会に出た時にどの様に役に立つのか分かりやすく記載されており、単に木工を習うというところから、もっと発展してこの技術が社会にどういうふうに貢献しているのか詳しく書かれているので、良いと思いました。最後の章ごとに問題解決の工夫が書いていまして、様々な情報技術問題解決の工夫とか、いろいろな問題解決を工夫してやっていこうというような呼びかけが、それぞれの章にありますので、わたしたちの日常に根付いていると思いました。

家庭分野ですが、皆さんがおっしゃるとおり、内容が濃い教科書になっておりますので、難しいとも取れますし、奥行きがある勉強ができるのも取れるのですけれども、いろいろな教科書を見せていただきましたが、開隆堂出版の方が、人権、道徳といった幅広い問題に対しいろいろな内容が書かれているので、他の教科との関連づけがすごくしやすくなっているのも、良いなと思いました。

小辻委員

家庭科ですが、「東京書籍」とどちらがいいのかという話があり、私も迷うところでありましたが、審査いただいた先生方や実際に使われる現場の先生方がこれを押したいという思いでおられます。頑張って活用していただきたいなというふうに思っております。非常に悩ましいなと思うことは、使われる先生方が、実際に学んでこられたこと以上の新しいことが多く入ってきており、教科書を読むだけでは、十分ではないという大き

な課題があります。先生方には非常に勉強をしていただかないといけない。勉強はされていると思いますが、先生によっては不得意な内容まで踏み込んでいかないといけないものになっておりますので、先生方へのサポートであるとか、学習時間というところで非常に仕事のにもハードになってしまうのではないかと懸念は持っております。そのうえで、先生方がこれを使いたいということです。内容自体は、非常に面白い点もたくさんありますし、先輩方の話、いろいろな活動されている方のお話も出て、見応えがあるものでありますので使っていただきたいというところではあります。先生方が学びの時間を取らないといけないというところで、どういうふうにしていくのがいいのか、場合によっては先生が使われてきた言葉と違うものも出てきょうかと思いますが、例えば26ページのところで「様々な暮らし方」というところで、「二人親と子ども」というところで、滋賀県もそうですし草津市でも行政文書で見られない言葉も使用されているところもあります。その辺りを教えるときインターネットで調べてもほとんど出てこないの、先生方なりにアレンジして使っていただくのもいいのかなというふうに思っております。その中で草津市としてサポートしていくことを考えていかないといけない教科書とは思いますが、先生方から、これをどうしても使っていきたいという強い思いをいただきましたので、是非採用したいなと思っております。一点質問なのですが、185ページの衣服の働きというところで、ある方にまつわる事件があり、報道ではその方の写真を消すということを聞いております。教科書の修正等の話は教育委員会の方に届いてはいるのでしょうか。報道では聞きますが、実際私も見ていないので分からないのですが、御回答をお願いします。

学校教育課長

学校教育課の西田です。タレントの写真についての差し替え、削除するという情報は入っていますが、今のところ、このように変えるという具体的なものとしてのお話はいただけないところです。今後も採択に当たって確実に変わってくると思いますが、しっかりと確認した上での生徒への配布というふうにしたいと思っております。

藤田教育長

学校教育課長

次の、2教科をお願いします。

次に、外国語と特別の教科道徳でございます。

外国語は、資料116ページからの記載となっております。

外国語は「東京書籍」「開隆堂出版」「三省堂」「教育出版」「光村図書出版」「新興出版社啓林館」の6社から発行された教科用図書から調査を行いました。

6社の中から、「東京書籍」が選定されました。議案書10ページの選定理由を御覧ください。

「各Unitは7～8ページで構成されている。1年生はUnitまで全てダイアログ形式であり会話の中で既習事項を確認できる。各Unitの扉に目標が明示されており、「Unit Activity」で題材に関連した学習活動が設定されている。デジタル教科書のどの箇所をクリックしても音声の流れ操作性が良い。QRコードからのコンテンツの内容が豊富である。」という点で、「東京書籍」が最も適切であるという結果になりました。

この教科書の特徴として、資料118ページ様式2を御覧ください。観点①～⑦の全てにおいてA評価になりました。

観点③Unitのまとめとして、「Stage Activity」という技能統合的な活動が設定されており、テーマに沿った情報の収集や整理を行った上で、考えのまとめ方や参考となる表現を示しながら、生徒自身が自分の考えを英文でまとめられるように構成されております。観点⑥QRコンテンツの文法解説動画などは、実写とアニメのやり取りを取り入れるなどの工夫が見られ、自学自習や個別最適な学びに対応しています。観点⑦現代的諸課題を題材として取り入れているとともに、自分の意見を表現する活動が多くなっている。教科書に沿って学習を進めれば無理なく自己表現活動へつながるなど、学習者はもとより指導者にとっても、よく作られた教科書であるという報告がありました。

続きまして、特別の教科道徳でございます。

資料127ページからの記載となっております。

特別の教科道徳は「東京書籍」「教育出版」「光村図書出版」「日本文教出版」「Gakken」「あかつき教育図書」の6社から発行された教科用図書から調査を行いました。なお、「日本

教科書」については、第二採択地区への見本の配本がなく、採択を辞退されましたので、報告書は斜線としております。

6社の中から「日本文教出版」が選定されました。議案書の10ページの選定理由を御覧ください。

「コラム「明日へのメッセージ」では、様々な人物からのメッセージが掲載され、その他「視野を広げて」「学びを深めよう」で、学んだ道徳的価値についてさらに考えを深められるよう工夫がされています。別冊道徳ノートというものがございまして、そのノートでは記録を1冊にまとめられるため、生徒自身も学びの跡を実感しやすい。また、毎時間の「自分への振り返り」の欄や学期末の振り返りのページでは、自身の成長や変化を記入することができる。」という点で、「日本文教出版」が最も適切であるという結果になりました。

この教科の特徴として、資料の130ページを御覧ください。10の観点において、Aが6つとなり最も評価が高いです。

観点④⑤別冊道徳ノートは書き込み欄が充実しており、発問に対する自分の考えを記入した後、友達の考えや気づいたことを記入できる欄を設けてあることに加え、学習の記録を一冊にまとめられるため、生徒自身も学びの跡を実感しやすいものとなっている。観点⑧「いじめ問題」については、自分ごととして考えられるよう、各学年複数回ユニットが配置されており、問題解決的な学習が取り入れられています。多様性や環境問題等の現代的な課題についても充実した内容となっています。併せて、いじめ問題に取り組む草津市内の中学校の事例や高島市や湖南市の地域教材も掲載されているという報告でした。

藤田教育長

では、外国語と特別の教科道徳について、御質問、御意見はございませんか。

我孫子委員

外国語ですけれども、2年生ですが、使われている題材や内容がユニバーサルデザインのことが書いてあったり、食の多様性と変化というのがあったり、社会的課題だったり、他の教科と総合的な学習などに触れるだろう題材が含まれていまして、それをどうやって英語で表現したらいいのかというところまで考え、学べるというところがいいと感じました。

道徳ですけれども、道徳ノートが、すごく先生方が授業を進

めやすいと思います。自分の考えを書くだけではなく、友達の考えを書けるスペースだったり、簡単に振り返えられるところがあったり、生徒たちにも分かりやすく、使いやすい物であると思いました。

伊藤委員

外国語ですが、いろいろな教科書をみせていただきましたが、こちらの東京書籍が単に語学を勉強するだけではなく、考えたことをどう表現するのかということを、自分の表現方法と語学というところを組み合わせさせて教科書を作っておられるなと感じました。練習問題に関しましても、あなたの観点を捉えてみましょうといったような、自分の意見を英語で表現するという内容が各章にありまして、どの生徒もそこに持っていけるような、最終地点をそこに閉じ込めるような、段階で学びが進んでいくように、想定されているのでとても深くて良いと思いました。

道徳ですが、道徳ノートが別冊でついているのですが、私の中では評価が高かったです。いろいろなところを評価されていますが、「学びを深めよう」というテーマがついているところを読ませていただくと、必ず答えは一つではないという点がポイントになっていまして、それぞれの意見があっていいということにまで落とし込めるようになっていまして、こちらの教科書が良いと思いました。

小辻委員

英語ですが、ニューホライズン1で小学校での学習の振り返りから始まって、しっかりと連結しようという試みがされていて、非常にいいなと思いました。ひと昔前の教科書ですと、語学が嫌いになる一部の生徒にとって定番のことが起きるわけですが、そのようになりづらいように力を注いでいただいているように思いました。好感の持てる教科書です。ひと昔前の教科書よりも進化していて良いと思います。

道徳の方ですが、やはり道徳ノートが非常にいいなと思います。小学生の方でも非常に好評ということで、生徒が小学校から上がってきた時に、慣れ親しんだものをまた使えるのが非常にいいのかなというふうに感じております。3年生のところで、例えば杉原千畝さんの話でありますとか、ユダヤ人の方の話とかいろいろ出てくる中で、戦争において皆さんがいろいろ

なことを考える、それは単純に誰か1人が悪いだけでなく、いろいろな国の問題であることも含めて考えるようなテーマを出していただいたりしていますので、その中で社会において平和、人権等を考えていけるような道徳の教科書だと思います。

藤田教育長

では、次をお願いします。

学校教育課長

続きまして、小中学校特別支援学級です。

資料の137ページから小学校の特別支援学級の一般図書について記載しておりますが、資料の147ページの方を御覧ください。

小学校の特別支援学級の一般図書になっております。小学校の特別支援学級におきましては、第二採択地区の選定一欄に記載された図書に供給不能というものは出ませんでした。そこで、これまでに選定している一般図書のうち、記載内容が現在の学習にふさわしいか調査をいたしました。その結果、保健においてジェンダー平等への配慮が不十分な表現が含まれているものがありましたので、1冊新たなものを選定することいたしました。保健において「少年写真出版社」の「ドキドキワクワク性教育②大切なからだ・こころ」が新たに選定されました。選定理由といたしましては、資料156ページを御覧ください。「知的障害学級の児童が、自分の体や心がかけがえのないものであり、大切であることを学び、自分自身を大切にするとともに、自分のまわりの人も大切であることを学ぶことができる。」「からだの成長」、「プライベートなところ」、「こころの成長」と大きく3つの項目に分けてまとめられており、自分自身のからだやこころが大切であることをわかりやすい表現とイラストで学ぶことができる。」などの理由で選ばれております。

資料146ページにお戻りください。社会科において「なりたい！わくわく！おしごとずかん」が調査委員会から推薦されましたが、しかしながら協議会における審議の中で、職業におけるジェンダーへの配慮に欠けているという意見があり、協議した結果、選定が見送られました。

次に、中学校の特別支援学級の一般図書についてです。

資料157ページから記載されていますが、その中の164

ページと165ページを御覧ください。

中学校の特別支援学級の一般図書では1冊が供給不能となりました。供給不能となった図書を補う図書を中心に選定作業を行うとともに、理科においてジェンダー平等への配慮が不十分な表現が含まれている本があり一般図書を新たに選出し直すということといたしました。その結果、次の2冊に決定しました。1冊目が、小学社会科において「小学生おもしろ学習シリーズ完全版日本の歴史人物大事典」です。2冊目は、理科において「小学館の図鑑NEO野菜と果物」が新たに選定されました。

選定理由といたしましては、資料173ページに記載されております。1冊目は、社会科の日本の歴史の中で重要な人物272人を紹介しておりまして、日本の歴史や偉人のことが楽しくわかり、各時代の人の想いや知恵が見えてくる構成となっております。これからの未来について考えを巡らせるのにふさわしい内容となっているということです。歴史という抽象的な内容の学習を、カラーまんが・イラストで具体的に分かりやすく表現しているので、特別支援学級の生徒が学ぶのに効果的であるということでした。

続いて、2冊目の理科の選定理由は174ページ記載しております。「日本で食べられている主な野菜と果物など約700種類が最新の情報に基づいて紹介されており、私たちが健康で生きていくためになくてはならない野菜や果物の特徴や栽培方法、料理方法などが詳しく解説されています。それぞれの野菜について、さまざまな角度からの情報が満載で、何度も繰り返し読みたくなるような内容となっている。」ということから選定されました。

特別支援学級一般図書につきましては以上でございます。

藤田教育長

では、小中学校の特別支援学級の一般図書について、御質問、御意見はございませんか。

森委員

「ドキドキワクワク性教育②大切なからだ・こころ」ですが、色合いがとても優しくて、全体的に柔らかい感じで、イラストの表情も良かったです。「からだの成長」「プライベートなところ」「こころの成長」と3つに分けられているのも、特別支援学

級の生徒にとっては分かりやすいと思いました。自分の体や心を大切に思うのと同時に、周りの人も大切であるというところが良いと思いました。

次に、日本の歴史人物大事典ですが、これは各時代の最初に代表的な人物が紹介されていて、その時代の人々の暮らしがわかりやすい漫画で紹介されています。全体的に見やすく、情報量が多すぎず、短い文章でとても分かりやすかったです。全ての漢字にふりがなが付けられているのも良かったと思います。

小学館の図鑑の野菜と果物ですが、写真の色が綺麗で野菜の全体の姿、スーパーで売っている部分だけじゃなくて、全体の姿がよく分かって、食べ物としてどこを食べているのか、根っこなのか葉なのか茎なのか、それによって分けられているのも良いなと思いました。特別支援学級では野菜等の栽培などに取り組むこともあると思いますが、栽培方法についても、分かりやすい図で示されています。

質問ですが、「なりたい！わくわく！おしごとずかん」が選定を見送られたとお聞きしましたが、もう少し調査理由を教えてくださいたいと思います。

学校教育課長

学校教育課の西田がお答えいたします。

協議会で議論になりましたところは、協議会でもその見本を見ていただいたところなのですが、職種によって性別が固定するようなイメージがあり、例えば、描かれている看護師のイラストが全部女性でした。そしてキャビンアテンダントも全部女性でした。他には、消防士や警察官は全部男性ということで、両性共に描かれていたり、もっと多様性書かれているといいのですが、どうも旧来からのイメージを固定させてしまうようなことにならないかという危惧がありまして、御意見いただき、ジェンダーへの配慮が足りていないなということで見送ったということになります。

小辻委員

小学校の、「なりたい！わくわく！おしごとずかん」を拝見させていただきましたし、会議の中でもいろいろお話をさせていただきましたが、ジェンダー配慮が欠けているところもありましたが、他の本がどうなのかというのも含め、まだまだ課題のある本が多いなと思います。いろいろなお仕事関係などの

本を今後調査して、また上げていくというのも教育委員会の仕事なのかなと思っておりますので、次年度以降いいものが採択いただければなという思いであります。

中学校の特別支援学級の一般図書の中で、理科においてジェンダー配慮が不十分だというものがあったということですが、これについてジェンダー配慮以外にも現在の通説であるものと違うようなものもありましたので、理科の教科書として不適切であるということでした。ジェンダープラスαでそういうことがあるという事を、お知りおきいただければと思います。小学館図鑑のNEOを、選んでいただいて非常に進化して良くなったと思っておりますので進めていただければなというふうに思っております。

日本の歴史の方の272名を紹介している本につきまして、非常にコンパクトにまとまっていて、人物から日本の歴史を考えていくということが出来る本だと思います。生徒がそこから歴史に興味を持ていただければ、より良いのかな、適切な教科書になりうると思っております。

藤田教育長

一般図書については、選定がより難しいと採択協議会から出ていましたので、調査委員の方にも御協力を得ながら、いろいろと見直しをしていただいておりますけれども、その辺、教育委員会も含めて対応させていただけたらと思っております。

それでは、皆様にお諮りいたしたいと思います。

本議案につきまして、教科用図書第二採択地区協議会の決定に基づき原案のとおり可決いたしたいと思いますが、御異議はございませんか。

各委員

— 異議なし —

藤田教育長

異議がないようでございますので、議第54号は原案どおり可決をいたしました。

では、続きまして「議第55号臨時代理の承認を求めることについて」審議させていただきます。

事務局の説明をお願いします。

教育総務課長

「議第５５号臨時代理の承認を求めることについて」教育総務課の山田より御説明申し上げます。

議案書は１５ページから１８ページでございます。

議第５５号議案は、９月定例市議会に対し、教育委員会に関連する令和６年度一般会計補正予算を提案するにあたりまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２９条の規定に基づき、市長より意見を求められているものでございますが、委員会の会議を招集する時間的な暇がございませんでしたので、草津市教育委員会教育長に対する事務委任規則第３条の規定によりまして、教育長が臨時に代理をさせていただきましたことを委員会に報告し、承認を求めるものでございます。

１８ページを御覧ください。

南笠東小学校仮設校舎整備費の債務負担行為でございますが、予防改修工事を実施することに伴いまして、必要となります仮設校舎整備のリース契約について、資材高騰の影響により入札不調となったことから、再入札の実施に向けて、債務負担行為の増額補正を計上するものでございます。

以上、誠に簡単でございますが、議第５５号の説明とさせていただきます。よろしく御審議いただきますようお願い申し上げます。

藤田教育長

ただいまの説明につきまして、何か御意見、御質問はございませんか。

小辻委員

補正予算の件で、南笠東小学校の仮設校舎の整備費ですけども、債務負担行為補正額の額で今度は入札できるということで大丈夫でしょうか。

教育総務課長

今回の金額ですが、先般７月に入札を執行いたしまして、その時に応札をいただいた額を元に再度予算を計上させていただいておりまして、改めて入札の実施に当たりましては仕様書の一部を見直して、金額の方が抑えられるように取組もさせていただき、数社から入札をいただけるものと思っております。

藤田教育長

本議案につきまして、御異議ございませんか。

各委員

— 異議なし —

藤田教育長

異議がないようですので、議第55号は承認されたものと認めます。

それではこれをもちまして8月の臨時会を終了させていただきます。

閉会 午前12時00分

